



東海大教授  
寺尾 裕 様

## 津波防災について



会長さんのお話の中に、津波のお話がありましたが、やはり大切なのは人の命を守るということだと思います。その為にどうすればいいのかと知恵を絞りました。カプセルを作って、その中で人を救えないだろうかというコンセプトで考えました。

東北大震災での被害は、95%以上が水で亡くなり、55%以上が60歳以上という数字が出ています。キーワードは「溺死・高齢者」であります。

考えなくてはならないのが、高齢者(弱者)の命を守れるシステムとなります。

それは、安く、時間的にも早く出来るようなシステムでなければなりません。

大津波と闘うという方法がありますが、コスト的にも大変難しいと思います。より強固な防波堤を作るという考えなどです。長期の建設期間も必要となります。高いところに登る事は効果的ですが、時間がかかってしまいます。

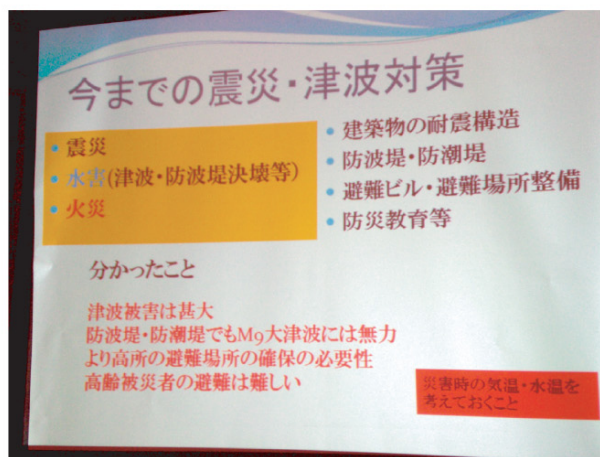
地下に潜るという考え方が出ましたが、空気の供給の問題、コストの問題、上に土砂などが来た場合、どうやって逃げるか等の問題が考えられました。

浮いて助かると言う考え方の中で、船で逃げる事が考えられます。しかし、海上で起こる火災に耐えられるかという問題があります。また、大型船舶が流されますと、それ自身が建物などを破壊することになります。

浮力体を付け、浮いていれば助かるという発想がありますが、これは甘いのではないかと思います。水温が33℃～35℃でも低体温症になってしまいます。気休め程度の浮力体を付けただけでは、多分生き延びられないと思います。

一番望みがあるのが、浮力体の中に入るというものだと思います。しかし、今作られているものは、ほとんどFRP製で耐久性、メンテナンス、コスト的な事に問題があります。今考えたいのが、100年間メンテナンスフリーでもつものが出来ないかということです。そこで、コンクリートでカプセル構造を作ってやろうと考えました。今年中に実験をやり終わりたいと思います。

被災地の一日も早い復興と再生を願っております。



### 委員会報告

#### ■親睦委員会 (長嶋委員長)

4月9日 25周年記念「観桜会」(中島屋ホテルにて)のど自慢大会を行います。

### 確定出席報告 (前々回出席報告)

山梨副委員長

月/日	確定出席率	総会員数	出席者合計 (含メイクアップ)
2/26	82.5%	45名	33名 (メイクアップ1名を含む)

- ・総会員数45名 (出席義務会員30名+出席免除会員15名)
  - ・出席者合計には出席免除会員、メイクアップ会員を含む
- ～出席率向上へのご協力をお願い致します～